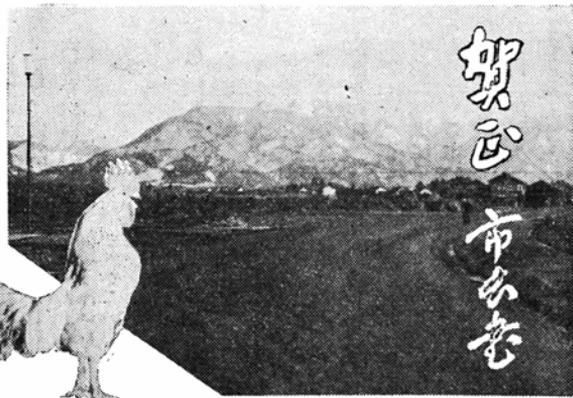


大野市報

東天紅に染む郷土のいやさか

朝心 市公電



齋藤 大野市長

年頭のことは

市長 齋藤 重雄

輝かしい昭和三十三年の元旦に当り、親愛なる市民の皆さまに謹んで年頭のごあいさつを申しあげます。
まず皆さまが一家そろって御健康で希望に満ちた新年をお迎えになりましたことを心

秀峯荒島岳も、九頭龍の清流も太古の姿ながらに、昭和三十三年の元朝は明け初めた。市制いらい三年の短時日に、合併に期待した諸々の事業はなしとげられつゝある。これぞ、市民一丸となつての努力の結実以外の何ものでもない。ことし、西年にちなみ、遙か東天を望んで曉を告ぐる鶏のように、清明と勇気をみなぎらせつゝ理想郷大野市の建設に邁進しようではないか。

だしいうちに終始したとは申せ、その間建設五カ年計画に基いて市政全般を進めてまいりましたが、市民各位の絶大な御理解と御協力によつて着々成果をあげつつありますことを深く感謝いたします。
最近全国的に地方財政が急迫を告げ、わが大野市もその例にもれず、足りない財政を有効に使うべく、昨年来消費的経費を極力節減し、これを主として建設的事業に注ぎ、新市建設の意欲を事業面に盛りあげるよう努力してきたのであります。
本年も同じ方針で教育施設の充実、産業の振興および交通網の整備拡充の三大事業と市街地の防火用水利、農村地帯の簡易水道および部落連絡電話等の施設を充実する計画であります。これは大野市百年の大計上、市の将来にならう青少年の育成は最も重要であり、田園都市として特異な形態を持つ大野市発展の基盤は、農林産物の増産を図り、都市部と農村部が相互に協力し乍ら共に発展を期すことにあり、これが大野市建設の目的にも添い、さらに道路、橋りょうを整備拡充して物資の交流をスピード化し、広大な地域の距離感をなくすることが産業振興の上に最も有効適

切な手段であると信ずるのであります。
その他、市民が文化的な明るい生活を維持する上に必要な措置は財政の許す限りにおいて最大限度に実施してまいります。理想の都市として発展するには、こんご幾多の困難が予想されますので、市民各位の一段の御協力をお願いいたします。
いわば本年は過去三カ年の業績を冷静に判断し、市建設五カ年計画にも再検討を加うべき年であります。当初においては理想的な計画であつて

新春を迎えて

大野市長 岸本達也



岸本 議長

靈峰荒島に初日の太陽が高らかに輝きわたる昭和三十三年の新春をつつがなくお迎えなさいました市民の皆さまに心から御祝詞申し上げます。
かえりみえますとき、国家的には日ソの平和条約がなり、待望久しかつた国連加盟も実現して国際場裡における日本の活躍も期待されることになりました。
大野市におきましても下庄

も、時世の変転と市民の要望に即し、これをさらに理想的なものに改めることこそ新大野市建設のため忘れてならないことと信ずるのであります。なお市民多年の宿願であつた越美北線工事並びに君が代橋の永久橋工事もいよいよ着工の運びに至りましたことは誠によろこびにたえません。また目下、市民の大きな話題となつています置泉らしいの大事である北陸電力株式会社の発電所誘致についても各機関の協力によりましていよいよ着工が決定となり、あ

とは関係地元民の方々の用地買収についての接しように残すのみとなりましたことは大野市の前途に大きな光明を与えるものでありまして、各位と共に大いに意を強くするものであります。
一年の計は元旦にありと申します。希望に輝く昭和三十三年の元旦に当り、本年の計畫と希望を申し述べまして市民各位の御理解と御協力をお願いする次第であります。
ここに市民各位の御健康と御幸福をお祈りして年頭の祝辞といたします。
予算) 関係におきましても有終西小学校の新築工事、五箇阪谷、富田統合中学校建設の大問題を筆頭に、多くの増改築校舎をかかえ、商工業の振興、農林産物の増収施策、道路、橋の改修など、よつて市民生活の安定をきたしめる各種の方策を、不足な財政をもつて有効適切に行使しなければならぬと信じております。我ら議員三十名は皆さまの代表として、あらゆる角度からよく市政運営に協力し御期待に添いたいと念じておるのであります。市民の皆さま、四万五千人が一丸となりこの大野をして明朝で豊かな住みよいふるさととしようではありませんか。一層の御協力を希い新年のあいさついたします。

一般会計 追加更生 予算案など

七議案を可決

第17回定例市議会

第十七回定例市議会は十二月二十日、大野市役所下庄出張所で開かれ、議席の変更、常任委員の改選を行い、昭和三十一年度大野市一般会計追加更正予算案(第二次)など七議案を可決し、さらに、二十九件の請願書を上提、各常任委員会に付託、午後五時七分閉会した。

二十日午後零時三十分西川副議長が開会を宣言(岸本議長欠席のため)まず高田新左衛門氏を紹介、高田議員からあいさつがあつた。

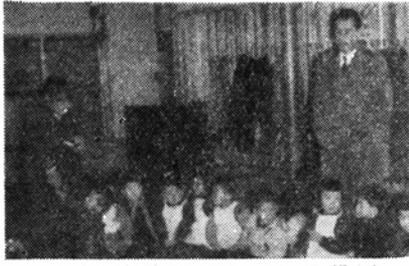
ついで四方議員から議席の変更常任委員の交代の動議がでて、議席の変更と常任委員会の委員の交代をなし(議席番号、常任委員会の割振りは六頁を参照)議事に入った。

議決となつた議案のあらましは次のとおりである。

① 議案第四十七号、昭和三十一年度一般会計追加更正予算、総額二百九十八万一千六百九十四円で、歳入は、▽財産売払代金九十一万三千八百円(旧小学校校舎の一部払下代金その他、国庫補助金、四十六万七千八百九十四円、歳入小学校校舎国庫補助の決定によるもの)▽市債百六十万円となつてゐる。歳出は▽議会費六万円(議員調査研究費)▽市役所費三十五万円▽電源開発誘致、越美北線の着工促進費▽教育費二百六万七千八百九十四円(下庄、上庄、藤生、小山の各小学校の校舎新築費不足分)▽社会労

つてもらうことにした。③ 議案第四十九号、欠員となつていた監査委員の選任を近藤由太郎氏に同意。④ 議案第五十号、前教育長瀧波与六氏退職による退職手当の支給額を十五万円議決した。⑤ 議案第五十一号、職員給与と条例の一部を改正し、期末手当の支給額百分の二百を、百分の二百三十に改めた。⑥ 議案第五十二号、上庄小学校屋内運動場改築工費の契約を議会の同意を得て本契約とした。⑦ 議案第五十三号、特別会計国民健康保険の更正予算、本所と五箇の一部。

みんなで楽しいお正月を



(市立保育園を慰問した池田助役ら)

市内には身寄りのない気の毒な方や、生活に困つてゐる方がたくさんある。去る十二月三日から二十三日までの社会福祉強制月間に、市役所と大野市社会

ん詰、石けんや、お肉、学用品ゴムマリ、コマなどを贈つた。贈る者と、贈られる者との間に明るい人情絵巻がくりひろげられたのは印象的だつた。



毛糸の工夫

毛糸は玉にまきとるより、箱の中にたぐり込んで置きますと、ふつくと毛糸の味を損わずによいものですが、編んでいるうち、何かのはずみに下や横の毛糸がついてきて、もつれてしまします。それで小豆を一握りほど毛糸の上にはばらまいてみまし上りませんで安心して編めます。大豆を入れてもよいわけです。

よい木を選ぶ

林の中で普通の木よりとび抜けて生長もよく樹冠も狭く、形

コンクール

は市役所の各出張所へ申しでて下さい。なお、お子さまが病弱、あるいは、養育不完全、その他やむを得ない事情のため就学困難の場合は医師の証明書の持参が必要です。この場合、あてはまるお子さまの御家庭へは、一月書、またはその理由を証明した末日迄にお知らせいたしますが、書類を添えて就学猶予、または万一、通知が届かなかつた場合は、直ちに市教育委員会へ出して下さい。

新入学児童を待つ御家庭へ

ことし小学校へ新入学するお子さまは「大野市内に住んでいて、昭和二十五年四月二日から昭和二十六年四月一日までの間に生れた方」です。

市報が特選に入る

本年度の県下広報紙コンクールで大野市報が第一位に入選した。これでは全国広報紙コンクールに参加できるが、これも偏に市民の皆さんの変らぬ御指導と御協力のおかげと感謝しております。こんどもよろしく御鞭撻ください。

▽市の部第一位(大野市) 大野市報 二位(福井市) 市政週報三位(武生市) 広報たけふ

質のよい木を選ぶコンクールを県が行う事になり、応募者には褒賞があたる。▽樹種 スギ、アカマツ、クロマツ、ヒノキ

▽樹齢 二十年以上(二十一四十年生)

▽募集期間 昭和三十一年十一月一日から昭和三十三年八月末日まで

▽適格条件 成長が極めて早いこと、周囲の木に比較して胸高直径、或いは樹高が著しく大きいこと。候補木を中心として、同一環境と見られる区域(半径三〜六間の円で約二十本前後)内で、候補木につぐ胸高、直径の大きい三大木の平均材積より候補木の材積が五割以上(スギは四割)大きいことが必要



風見鶏

正月行事の中で、とし第一番に新生活運動の槍玉に上つたのは門松である。中には「どうも松を飾らないと正月気分が出ない」とおつしやる御仁もあるが、門松のあり方についてはぜひ一考を要したい。門松の起りは色々いわれているが、民俗学によると、歳の神靈をよびよせて宿らせるための依代(ヨリシロ)で神社の祭に立てるノボリ、ハタ、フキナガシヤ、所々にある神木と同じ系統に入るものである。そして門松に使う木の種類も実に種々雑多で必ずしも松とはきまつていない。天龍川流域ではトチ、スギ、タケを、山形県の一部ではナラ、ツバキ、ホウ、ミズキを、山口県や宮崎県では松以外の木しか使わない。そして立てる場所にしても、長野県や岐阜県の北部では部屋の中の間に松をクリスマスツリーの様に飾つて立てるし三河の山岳地帯では家の前庭に立てている。また昔の京都では一さい飾つていない。こうして見てくると「門松は松の木を使つて玄関に立てるものだ」という考え方は極めて固定した考えだということになる。頭の固定観念の固執は新しい時代を作る力にならない。新生活運動の眞の目的は、新しい時代を作るにふさわしい頭の持主を作ることにある。

産業の大動脈

橋が代君 工着よよい

中部地方の表日本と裏日本を結ぶ産業発展の大動脈でもある。葛蒲池と井の口地保にかかるこの橋は老朽も甚だしく市を挙げてこの架け替えの請願にあたつていたが、多年の念願もかなつていよいよ永久橋が架けられることになつた。

去る十二月十日 着工、総額八千九百万円を費し、昭和三十三年三月末に完成することになつて

いる。この橋は現在の位置より百米下流にかかり現在の橋より長さは一米短くなるが、幅は二米広まり、三十一米ごとに橋臺ができ、これに一千八百万円を要し、ことし三月末完成する予定である。

賀歌

真名短歌会

星さゆる夜寒を踏めば自転車
ライトに流るるほの白き霧
加藤龍雄

高原を過ぐれば洞爺の湖展け
和新山に煙あがれり
河原貞一

日章旗に初日輝きハラルドをさ
してゆくくらむ谷海鷹
三井楚扇

天つめは天冠揺れて面照らし月
宮のさまの賞でたかりけり
◎ 真名短歌会へ入会希望の方は中狭大畑草雨または最寄会員へ連絡下さい

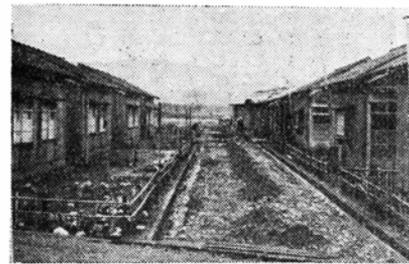
今月の行事

上旬 △ 農業指導連絡会 △ 大野地域国保再開婦人研究会 △ 大野地域国保再開第二回促進委員会 中旬 △ 大野地域国保再開第三回促進委員会 十五日 △ 成

中津川と新在家に二十戸

スマートな市営住宅

総工費五百四十五万円で市営住宅二十戸の建築を急いでいたが、十一月末中津川に十五戸、新在家に五戸が新築された。市民の住宅難を解消するとともに、市民福祉の向上を図る目的で、第一種住宅建坪十一坪、間取り六畳間二室の五戸が新在家に、第二種住宅、建坪九坪、六畳間一室、四畳半一室の七戸、簡易耐火構造住宅(母子住宅)建坪六坪、間取り六畳間一室の八戸が中津川に、それぞれスマ



(写真は新装の市営住宅)

年末年始の浪費を節約しましょう

このほど大野市新生活運動推進協議会で新生活運動の推進目標を次のとおり決めて強力に年末年始の浪費をつつしむよう呼びかけています。全市民が協力してこの実を挙げ、浪費節約から明るい大野市の建設にあたろう。運動目標次のとおり

- ① 形式的な贈答品をやめよう
▽お歳暮の贈答をやめよう
▽形式的な婚家先への訪問贈答を改めよう
② 年賀状の出し方を改めましょう
▽職場同志の虚礼を改めよう
▽年賀の書き方を工夫しよう
③ 年末年始の浪費をつつしもう
▽忘年会や、新年会を自肅しよう
▽門松は枝木を使いましょう
④ 歳末助け合い運動に協力しよう
▽各種募金運動に協力しよう
▽冷害困窮者を援助しよう

人の日 下旬 △ 大野地域国保再開第四回促進委員会 △ 臨時市議会 △ 農事振興部落座談会

新春句帖

大野俳句会

ほとほとと雪解零の凍ててやむ 田中星眠子
短日の補講チョークは折れ易し 西川善三
初髪の似合わなければ崩しけり 杉田紀美江
幸せがそこにあるごとくストロー 村岡直人
かこみ 山奥いはほ
子を殴ちしながき一瞬星凍る



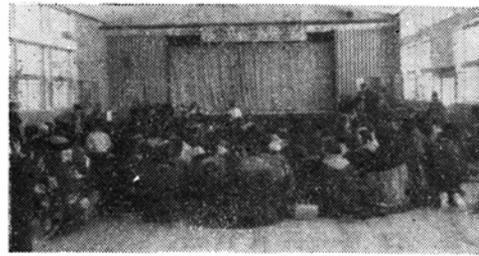
年が鶏のいい分 大野養鶏組合

鶏組合で、この運営は健全の一路を歩んでいる。事務のKさんは、ことしは西年だから市内の全農家で養鶏をやつてもらいたいと前置きしてこの組合の主な事業は鶏卵の販売、産卵の処理、飼料の購入あつせんなどで、この組合の堅実な運営は、県下の養鶏家がうらやましがつていて、ちよつと自慢ばなし。鶏卵の約八割は福井方面に出しているが、現在県下では鶏卵の生産不足で、富山、石川県方面から相当移入しており、これらの需用に慮るために、どんな生産を増して行きたい。それは市内の養鶏家は一人残らずこの組合に加入して下さつてさらに養鶏に力を入れてもらえれば、併せて農産物の商品価値は高まり、耕地の高度利用によつて結局、農家収入を増すことにもなります。つまり養鶏が盛んになることによつて、市の発展は間違いないと広長舌、ありがたい御託言を賜つた。

二番上に公衆電話を設置

このほど二番上、銅子菓子店の横に、大野電報電話局が公衆電話を設置して、公衆のサービスの向上につとめています。清水、二番上、本町上、鋸町の方々は勿論、一般の方々へも屋夜を問わず使用していただくことになつていきます。

靈峰下の教育殿堂 文化の象徴、蕨生校舎成る



(写真は蕨生小学校の講堂)

市内三大重点施策の第一にあげられた老朽校舎の改築、学校施設の改善は超スピードで推進せられ、ここにまた靈峰荒島岳の麓に蕨生小学校の講堂、教室をはじめ給食室、炊事室等の付屬校舎が堂々その偉容を誇ることとなつた。総工費八百有余万円を費したもので、咲き匂う花にも似たモダンな講堂をはじめ、総タイル張りの浴場に至るまで、あらゆる面に近代建築の粋を集めたもので、校下民一同は教育の殿堂、文化のセンターとしてのこの大建築に感謝の念で一ぱいである。

日のお成を祝

一月十五日の成人の日が近づきました。本年満二十歳になる方の将来の幸福を祈念して全市民が心よりお祝いをいたしましょう。成人になられた諸君も自分の社会的責任に思いを致され、社会の進展に寄与されるようお願いいたします。なお健康診断を左記日程で実施いたしますからぜひ受診されるようおすすめる。

- 一、日時 昭和三十三年一月七八、九の三日間午後一時より三時まで
- 二、診断内容 体重、身長、胸囲測定、X線検査、血液検査
- 三、場所 大野保健所

声

市街地に 共同便所を 近ごろ市街地が日に日に整備され

郷土いろはかるた

わき出る鉱泉、鳩ヶ湯、深井



上打波の鳩ヶ湯は、嘉永六年に発見された炭酸泉で、浴室から遠く白山の靈峰を望み絶景の地。飯降山麓の深井の鉱泉は、二百年の伝統をもち、泰澄大師の足跡もあると伝えられている。大野から鳩ヶ湯へは国鉄バスが、深井へは大野交通バスの便がある。

答たびたび建設的な御意見を お礼申しあげます。市の保健課では昭和三十三年度予算で三番石ドック、春日の円徳寺附近、市の中心街の三カ所に設備の整つた共同便所の建築を計画していますから御協力下さい。(保健課)



銀れいを蹴って

平年より一カ月も早く本格的な冬を迎えたここ大野盆地は全く新雪の新天地に変ぼうした。県下に誇る荒島、六呂師の二大スキー場では、どつと押し寄せるスキーヤーの前にその受入れに大わらわを呈している。荒島にはこの程リフトが、六呂師には新たにヒュッテがそれぞれ完成した。スケールの雄大さや、爽快な高原の情趣とともに、はち切れる若人の群像を待つ雪の大高原は、冬の市のシンボルでもある。

(写真は大阪市弘治小学校の教員ら一六呂師で撮る)

より將軍および藩主より賞せらる。泉州堺より銃士を召し、始めて鉄ぼうを製作した。大野藩大阪久太郎町に大野屋商店を開く。文久元年(一八六一)福井藩の青山貞、大野藩の樺太開発を知り、大野藩に頼り大野丸にて樺太に行き漁業を調査した。

西年の新年にちなんで、大野市の西年の歴史を調べて見ると良い事も多いが、反面また悪い事も少くはなかつたようである。

△和銅二年(七〇九) 越前の民を徴し陸奥、越後のえぞを平げしめた。吉備の大臣勅使となり中居宮に飢を奉納

△天平五年(七三三) 越前郡稻嶺に於保乃の名見えるこれ大野郡のことである。

△弘長元年(一一六一)寂円禪師銀杏峰ふもと(いまの宝慶寺)にて修業す。

△元弘三年(一一三三)淡川時治鍋床山に居城し北条氏の最期に殉ず

△弘和元年(一三八一)惠秀(補正成のおい)四ヶ谷保田に

二十日朝倉義景大野六坊賢松寺にて自刃、時に四十一歳、辞世享保二年(一一七七)面谷銅山復興。享保四年(一二二九)大野町の鍋屋清右衛門、茶屋長兵衛、泉屋六右衛門の三人に五百兩の御用金を仰付けられた。現在の一千万円にあたる)寛保元年(一七四一)大野町戸数一二五九戸と見ゆ(土族、寺社は入らぬ)宝暦三年(一七五三)ハシカ大流行、妊婦墮胎するもの多し。明和二年(一七六五)大野酒屋四十八軒に御用金八百兩仰付けられる。安永六年(一七七七)大野町八幡屋長兵衛より出火、現今の一千六百万円(三百八十六戸)焼失。大野藩の学者稲垣長章死す。寛政元年(一七八九)四月十七日、蓮光寺より出火、九八六戸焼失、大野町わら屋根を板屋根にすることを奨励、特に一番、七間、五番、横町は全戸板屋にすべしと厳命天保八年(一八三七)前年の大凶作により餓死者一六〇〇名に達す。嘉永二年(一八四九)土井利忠、土田龍濟を長崎に遣わし種痘を研究せしむ。土田龍濟諸士にらん学を教える。森永徳死す。火災復興築堤等の功により將軍および藩主より賞せらる。泉州堺より銃士を召し、始めて鉄ぼうを製作した。大野藩大阪久太郎町に大野屋商店を開く。文久元年(一八六一)福井藩の青山貞、大野藩の樺太開発を知り、大野藩に頼り大野丸にて樺太に行き漁業を調査した。

寺)にて修業す。

△元弘三年(一一三三)淡川時治鍋床山に居城し北条氏の最期に殉ず

△弘和元年(一三八一)惠秀(補正成のおい)四ヶ谷保田に閉居す。

△嘉吉元年(一四四一)小笠原政康(勝山小笠原氏の祖)功により三月十五日將軍より鶯丸の宝刀をたまわる。勝山小笠原氏はこの日を神拝日とした。

△天正元年(一五七三)八月

△慶長一四年(一六〇九)小栗美作守正高大野城主となる。勝山神明社を現地に再建。平泉寺寺海の高弟大野本光坊日海敗滅した。平泉寺の寺務を整理する。

天和元年(一六八一)土井利房幕府老中職を辞す。

享保二年(一一七七)面谷銅山復興。享保四年(一二二九)大野町の鍋屋清右衛門、茶屋長兵衛、泉屋六右衛門の三人に五百兩の御用金を仰付けられた。現在の一千万円にあたる)寛保元年(一七四一)大野町戸数一二五九戸と見ゆ(土族、寺社は入らぬ)宝暦三年(一七五三)ハシカ大流行、妊婦墮胎するもの多し。明和二年(一七六五)大野酒屋四十八軒に御用金八百兩仰付けられる。安永六年(一七七七)大野町八幡屋長兵衛より出火、現今の一千六百万円(三百八十六戸)焼失。大野藩の学者稲垣長章死す。寛政元年(一七八九)四月十七日、蓮光寺より出火、九八六戸焼失、大野町わら屋根を板屋根にすることを奨励、特に一番、七間、五番、横町は全戸板屋にすべしと厳命天保八年(一八三七)前年の大凶作により餓死者一六〇〇名に達す。嘉永二年(一八四九)土井利忠、土田龍濟を長崎に遣わし種痘を研究せしむ。土田龍濟諸士にらん学を教える。森永徳死す。火災復興築堤等の功により將軍および藩主より賞せらる。泉州堺より銃士を召し、始めて鉄ぼうを製作した。大野藩大阪久太郎町に大野屋商店を開く。文久元年(一八六一)福井藩の青山貞、大野藩の樺太開発を知り、大野藩に頼り大野丸にて樺太に行き漁業を調査した。